

# 目 次

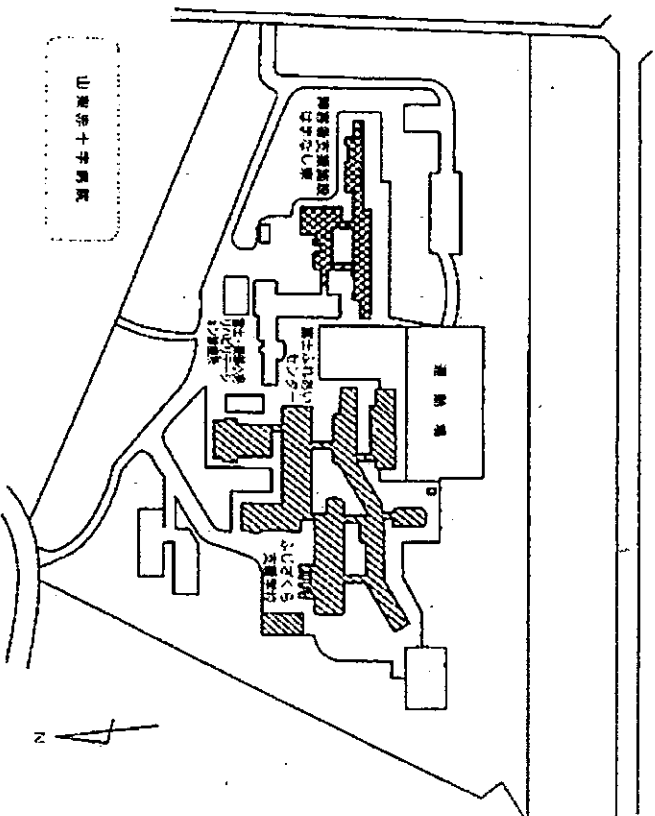
1 センターの概要 .....	1
(1) 設置目的 .....	1
(2) 建設の経緯 .....	1
(3) 施設の概要 .....	2
(4) 組織と業務内容 .....	4
2 管内の状況 .....	5
(1) 管内の概要 .....	5
(2) 管内の人口・世帯数 .....	6
(3) 身体障害者手帳交付状況 .....	7
(4) 療育手帳交付状況 .....	8
(5) 精神障害者保健福祉手帳交付状況 .....	8
3 業務の概況 .....	9
(1) 相談 .....	9
(2) 障害児(者)地域療育等支援事業 .....	10
(3) 地域交流事業 .....	13
(4) 社会福祉研修事業 .....	15
(5) 展示・貸出事業 .....	18
(6) 平成30年度利用状況 .....	19
山梨県立富士ふれあいセンター設置及び管理条例 .....	20
山梨県立富士ふれあいセンター設置及び管理条例施行規則 .....	22

(3) 施設の概要

① 富士ふれあいの村

- 所在地 南都留郡富士河口湖町船津 6663-1
- 敷地面積 119,000 m<sup>2</sup>
- 施設名
  - ・ 山梨県立富士ふれあいセンター
  - ・ 山梨県立ふじぎくろ支援学校

- ・ (福) 山梨県社会福祉事業団 障害者支援施設 はまなし寮 (H17.4.1から上記事業団へ移管)
- ・ 富士・東部小児リハビリテーション診療所 (H27.4.2開設)



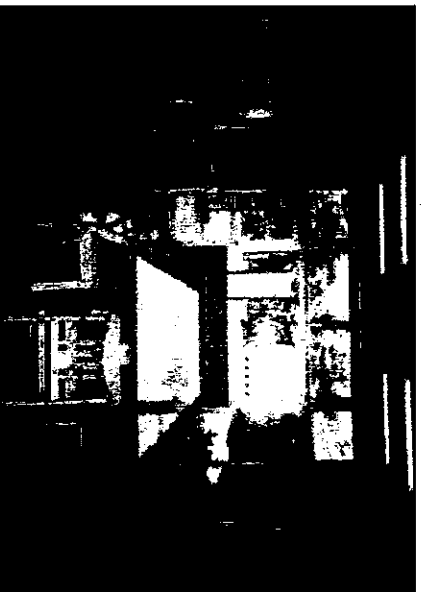
② 富士ふれあいセンター

- 規 模 鉄筋コンクリート造平屋建  
延べ床面積 1,398.46 m<sup>2</sup> 建築面積 1,666.07 m<sup>2</sup>
- 総工事費 5億972万7千円
- 施工期間 平成7年3月～平成8年3月
- 開 館 平成8年4月1日

○ 施設内容

施設名	床面積	設備内容(用途)
展示室	90 m <sup>2</sup>	車イス・介護ベッド等の福祉機器・福祉用具等の展示 管内福祉施設に関する資料の掲示等
図書室	63 m <sup>2</sup>	点字図書・大活字本・字幕入りビデオテーナ・カセットブック・ 一般図書の貸出し 点字ワープロ、拡大図書器、ビデオ付きテレビ、テープレコーダー
研修室	90 m <sup>2</sup>	(一休使用が可能) 机使用30～100人分、イスのみ120人分 音響装置、スライド映写機、OHP、ビデオプロジェクター
大研修室	162 m <sup>2</sup>	上下可動型台所装置2台、電磁調理器、オーブンレンジ、炊飯器等 の調理用器具 電気陶芸窯、ろくろ等の陶芸用具 卓上織物機、革細工用具 昇降テーナ13台
第2実習室	54 m <sup>2</sup>	畳部分10畳(茶室兼用)、座卓、水屋、茶道具 昇降テーナ2台
機能訓練室	75 m <sup>2</sup>	
更衣室	12.5 m <sup>2</sup>	ロッカー
医務室	15 m <sup>2</sup>	
相談室	19.8 m <sup>2</sup>	(相談・検査)
所長室	19.8 m <sup>2</sup>	
事務室	48 m <sup>2</sup>	一般事務(相談・判定受付、施設利用受付)

※ 太線内は、利用可能(貸出)施設です。

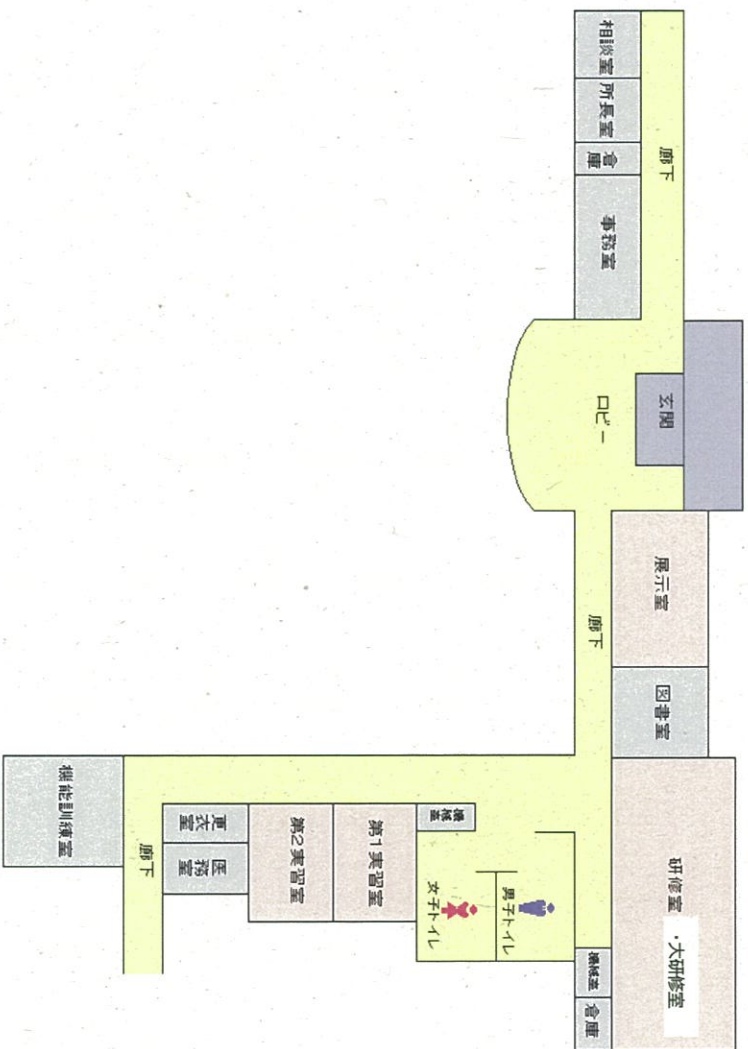


(第1実習室)

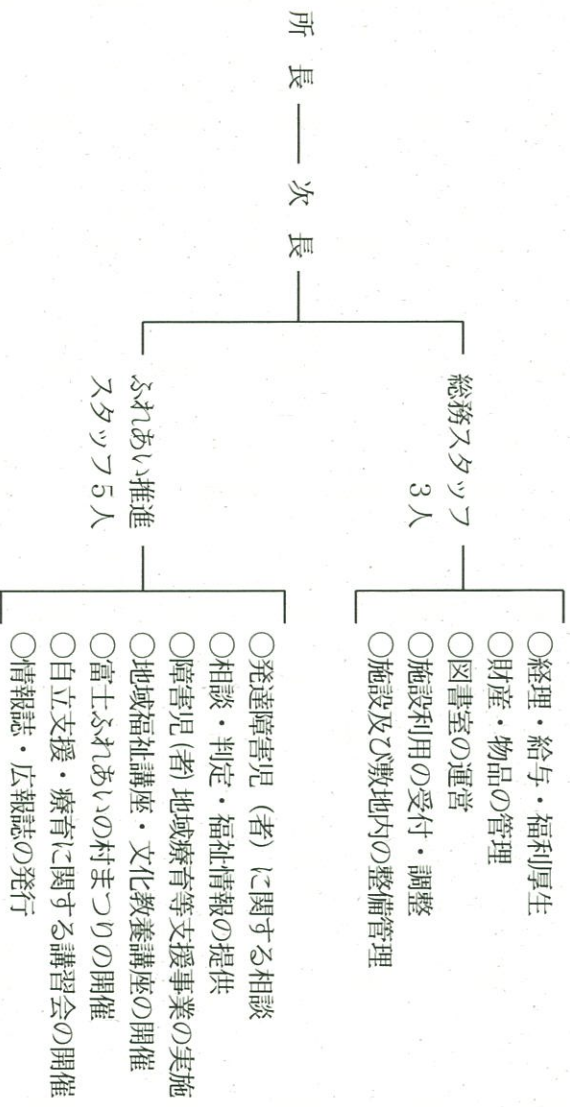


(第2実習室)

③ 富士ふれあいセンター施設平面図



(4) 組織と業務内容



## 2 管内の状況

### (1) 管内の概要

当センタ―は、富士・東部地域12市町村（富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、南都留郡2町4村、北都留郡2村）を管内としています。

管内の総面積は、1,309.34km<sup>2</sup>で全县の29.3%を占め、世帯数は70,348世帯で20.9%、人口は、173,992人で21.4%を占めています。（平成31年4月1日現在）

当管内は大きく富士北麓地域と東部地域の二つの地域からなり、富士北麓地域は、県の南東部に位置し、周囲に富士山を始めとした山塊に囲まれ、神奈川県・静岡県に接した地域で、東富士五湖道路、国道138号、139号など静岡県に連絡する幹線を有し、富士急行線、中央自動車道富士吉田線などの交通網も整備されています。また、富士北麓地域は、富士山や富士五湖に代表される日本有数の観光地であり、年間多くの観光客が訪れます。

東部地域は、県の東部に位置し、海拔200m未満の河谷から2,000mに達する高山をもつ山間地帯に広がっており、東京都・神奈川県・埼玉県に接した地域で、JR中央線、中央自動車道、国道20号、139号により東京圏へ連絡しています。当地域は東京圏への就業者が多く、山間部においては、若年層の流出により、高齢化とともに過疎化も進んでいる地域です。

管内の身体障害者手帳交付者数は6,726人、療育手帳交付者数は1,515人、精神障害者保健福祉手帳交付者数は1,270人です。（平成31年3月31日現在）



## (2) 管内の人口・世帯数

(平成31年4月1日現在)

市町村名	面積	世帯			人口			
		世帯数	対前年増減率 (%)		男	女	総数	対前年増減率 (%)
富士吉田市	121.83	18,560	0.3		23,071	24,241	47,312	△ 1.0
都留市	161.58	13,433	0.9		14,856	15,869	30,725	△ 0.6
大月市	280.30	9,559	△ 1.2		11,328	11,986	23,314	△ 2.6
上野原市	170.65	9,582	0.2		11,611	11,574	23,185	△ 1.5
道志村	79.57	590	△ 1.2		818	805	1,623	△ 2.4
西桂町	15.18	1,492	0.3		2,011	2,115	4,126	△ 1.0
忍野村	25.15	3,469	2.4		5,062	4,085	9,147	△ 0.7
山中湖村	52.81	1,909	0.7		2,537	2,615	5,152	△ 0.2
鳴沢村	89.56	1,072	0.5		1,436	1,488	2,924	△ 0.0
富士河口湖町	158.51	10,075	1.0		12,316	12,958	25,274	0.4
小菅村	52.65	322	△ 3.9		349	335	684	△ 2.8
丹波山村	101.55	285	0.0		274	252	526	△ 0.8
管内計	1,309.34	70,348	0.4		85,669	88,323	173,992	△ 1.0
山梨県	4,465.37	336,963	0.6		397,961	414,680	812,641	△ 0.7

(山梨県常住人口調査結果報告)

### (3) 身体障害者手帳交付状況

(平成31年3月31日現在)

障害区分 市町村名	視覚	聴覚	平衡	音声・言語 ・そしゃく	肢体	心臓	腎臓	呼吸器	膀胱・直腸	小腸	肝臓	合計
富士吉田市	115	99	3	25	962	294	169	56	87	0	5	1,815
都留市	79	84	2	17	542	219	99	12	36	0	2	1,092
大月市	72	107	1	11	538	272	104	18	63	1	3	1,190
上野原市	65	114	2	9	474	142	77	13	35	2	0	933
道志村	5	3	0	1	37	9	9	1	4	0	0	69
西桂町	11	9	0	3	73	36	15	2	7	0	0	156
忍野村	25	13	0	2	130	38	27	3	8	0	0	246
山中湖村	6	9	0	3	104	37	34	6	7	0	1	207
鳴沢村	3	8	0	0	59	19	8	3	1	0	0	101
富士河口湖町	42	60	1	13	444	141	87	14	53	0	4	859
小菅村	4	2	0	0	12	3	5	1	1	0	0	28
丹波山村	2	1	0	2	12	6	2	0	5	0	0	30
管内計	429	509	9	86	3,387	1,216	636	129	307	3	15	6,726

(単位：人)

\* 免疫機能障害については、加味していません。

(4) 療育手帳交付状況

(平成31年3月31日現在)

区分	障害程度別						年齢別		合計
	A-1	A-2 a	A-2 b	A-3	B-1	B-2	18才未満	18才以上	
市町村	48	42	96	8	120	91	83	322	405
富士吉田市	19	24	43	4	81	76	42	205	247
大月市	17	35	62	4	73	67	32	226	258
上野原市	22	30	41	6	52	62	32	181	213
道志村	1	1	5	0	3	1	0	11	11
西桂町	2	5	11	1	18	8	7	38	45
忍野村	4	5	7	1	16	18	16	35	51
山中湖村	7	4	9	1	8	12	4	37	41
鳴沢村	2	4	7	0	7	6	5	21	26
富士河口湖町	19	30	44	4	48	56	62	139	201
小菅村	2	0	3	0	4	1	2	8	10
丹波山村	0	3	0	0	1	3	1	6	7
管内計	143	183	328	29	431	401	286	1,229	1,515

(単位：人)

(5) 精神障害者保健福祉手帳交付状況

(平成31年3月31日現在)

市町村	手帳数
富士吉田市	365
都留市	220
大月市	217
上野原市	183
道志村	8
西桂町	23
忍野村	29
山中湖村	28
鳴沢村	18
富士河口湖町	171
小菅村	6
丹波山村	2



管 内 計	1,270
-------	-------

### 3 業務の概況

#### (1) 相談

##### ①障害福祉相談

専門スタッフ（ソーシャルワーカー、心理士）が、富士・東部地域を対象として、障害児（者）、家族、関係者等の各種相談に応じます。

＜障害福祉相談件数＞

来所	電話	その他（訪問等）	合計
254	22	5	281
			(件)

※障害児（者）地域療育等支援事業にかかわる相談は除く。

##### ②ことばの療育相談

言語について問題を抱えている児者とその家族に対して専門家による相談や指導を行い、家庭での働きかけ方等の療育相談による日常生活の向上を援助します。

＜ことばの療育相談件数＞

開催回数（延べ）	48
相談件数（延べ）	303
(件)	

##### ③相談・判定（障害者相談所兼務）

主として富士・東部地域の身体障害者（18才以上）の補装具及び知的障害者（18才以上）の療育手帳の相談・判定を、障害者相談所の兼務である福祉職員と心理判定員が行います。また、富士ふれあいセンター内だけでなく、管内各地への巡回による判定も行います。

＜身体障害者関係＞

(相談内容)

来所	巡回	計
補装具	6	44
(件)		

(判定内容)

来所	巡回	計
補装具	6	44
(件)		

＜知的障害者関係＞

(相談内容)

来所	巡回	計
療育手帳	11	148
(件)		

(判定内容)

来所	巡回	計
医学判定	0	6
心理判定	11	148
合計	11	154
(件)		

##### ④発達定例相談（こころの発達総合支援センター兼務）

主として富士北麓地域の子どもの心の問題（18才未満）及び発達障害（幼児期から成人まで）の相談に応じています。

(内容)

来所	訪問	計
相談	0	219
(件)		

## (2) 障害児(者) 地域療育等支援事業

### 1 目的

在宅の障害児(者)の地域生活を支えるため、療育、相談、福祉に関する啓発等を実施するとともに、地域での療育、支援体制を整備し、福祉の向上を図ることを目的とします。

### 2 対象

在宅の知的障害児(者)、身体障害児、発達障害児とその家族、福祉施設(保育所、障害児施設)等の職員、関係者

### 3 実施主体及び地域

実施主体・・・富士ふれあいセンター(事業の承認 平成10年10月1日)

地域・・・富士北麓地域(1市2町4村)

但し、拠点施設として富士・東部圏域(4市2町6村)

### 4 事業内容

#### (1) 在宅支援訪問療育等指導事業

##### ① 巡回相談

1) 相談指導班(福祉専門職、理学療法士、言語聴覚士、作業療法士等)を配置し、相談・指導を希望する在宅障害児(者)の家庭に随時訪問させ、又は、地域を巡回して各種相談・指導を行います。

##### 2) 乳幼児発達支援

保健所と協力して、心理判定員が相談に応じ乳幼児の発達支援を行います。

##### ② 訪問健康診査

医療機関等における健康診査を受けることが困難な知的障害児(者)等の家庭を、医師・保健師等が訪問し健康診査や各種相談を行います。

#### (2) 在宅支援外来療育等指導事業

在宅の障害児(者)及び保護者に対し、外来の方法で、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等専門家による各種相談・指導を行います。

#### (3) 施設支援一般指導事業

心身障害児通園事業や障害児保育及び、障害児教育等を行う保育所・学校・福祉施設等の職員に療育に関する技術指導を行います。

① 研修会の実施 年3回

② 訪問指導 随 時

(4) 地域生活支援事業

① 相談支援事業

当センターに在宅福祉を担当する職員（コーディネーター）を配置し、在宅障害児（者）とその家族に対して家庭訪問や面接、電話等による各種相談に応じます。

市町村の行う相談支援事業の中でも広域的な課題、困難事例等については、共働して対応します。

② ボランティア育成

学生をはじめ一般の方を対象に、障害及び障害児（者）の理解を深め、ボランティアへの意識や関心を高め、障害児（者）の地域生活を支援するボランティアの養成を図ることを目的として、講習会等の企画、運営を行います。

③ 情報誌の発行

地域療育等支援事業に関する情報を、関係機関をはじめ地域療育登録者等に周知し、療育に関する理解を深めるため、情報誌「ふれあいだより」を発行します。

④ 地域啓発活動

障害福祉関係者をはじめ一般の方を対象に、障害及び障害児（者）の理解を深め、障害児（者）が住みやすい社会を作ることを目的として、障害福祉等に関する研修等を実施します。

⑤ 地域障害者自立支援協議会の支援

富士・東部圏域の拠点施設として、富士北麓圏域障害者自立支援協議会（6市町村）をはじめ、管内の地域障害者自立支援協議会へ参画し、保護者、施設事業所及び市町村行政等関係機関と連携して、障害福祉の課題について検討し、解決に向けて取り組みます。

平成30年度障害児（者）地域療育等支援事業実施状況

項 目		日・回数	人 数	合 計	
在宅支援訪問療育等	巡回相談	7日	25人	7日 25人	
	訪問健康診査	0日	0人		
在宅支援外来療育等指導事業	理学療法関連相談	0日	0人	8日 15人	
	作業療法関連相談	8日	15人		
	ことばの療育相談関連相談	0日	0人		
	研修会	2回	85人		
施設支援一般指導事業	施設等訪問指導	保育園、施設等訪問指導	8回	17人	10回 102人
		相談援助事業	98回	98人 (28人)	
	電話相談	来所相談	150回	150人 (47人)	8回
		家庭訪問等	8回	8人 (8人)	
地域生活支援事業	ボランティア育成		3回	31人	265回 355人 (上記回数に情報誌発行は含まず)
	地域啓発活動	地域啓発活動	6回	68人	
	地域啓発活動	情報誌の発行「ふれあいだより」	1回		
合 計				497人	

※ ( ) 内は実人数

(3) 地域交流事業

① 文化教養講座

障害者の自立や生活の質の向上・地域交流などの場として、教室を開催します。各教室とも、それぞれに参加者に合わせた方法で工夫しながら行います。

教室名	対象者	期間	回数	受講者	内 容
陶芸 (出張含 む)	障害者及び 介護者 一般(若干名)	4/20 ～2/15	22回	157人	お皿やカッタなど実用的なもの・季節を感じる小物などを作製する中で、陶芸の技法を楽しみながら学ぶ。
料理	障害者及び 介護者 一般(若干名)	5/9 ～2/27	12回	180人	旬の食材を使い、簡単に作れる外国のメニュー等を提案。参加者同士が協力して調理や片付けを行う。
茶道	障害者及び 介護者 一般(若干名)	5/2 ～2/20	12回	152人	季節を感じる茶菓子を用意し、なごやかな雰囲気の中で車椅子の方もテーブルでの御手前を実施(裏千家)。
夏期教室	障害者及び 介護者 一般(若干名)	8/3	1回	6人	自分の好きな物(ラミネートした絵・木の実等)を用いて楽しむガーデンを親子で作成。
工 作	障害者及び 介護者 一般(若干名)	7/30 11/22	2回	48人	7月はラミネート、11月は、スノードームを作成。
絵てがみ 教室	障害者及び 介護者 一般(若干名)	7/23 12/12	2回	41人	基本の筆の持ち方・動かし方を意識しながら、7月はうちわ、12月はコースターを作成。
合 計			51回	584人	

② 富士ふれあいの村まつり

地域交流事業の大きな核として位置づけ、富士・東部地域の障害児(者)の方と地域住民の方が集い、ふれあう場として開催します。

事業名	開催日	参加者	内容
第23回 富士ふれあいの村まつり	平成30年9月8日(土)	約1,300人	演技・演奏、模擬店、フリーマーケット、抽選会



演技・演奏の様子

③ 富士ふれあいの村だより

平成30年度富士ふれあいの村だよりの発行状況

	内容	執筆者
第23号	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 共生社会の確立に向けた取り組み</li> <li>② はまなし寮</li> <li>③ 富士北麓・東部地域の特別支援学校として</li> <li>④ 障害者の就労支援の現状とこれから</li> <li>⑤ 障害者差別解消に向けた取組について</li> <li>⑥ 「富士ふれあいの村」へのアクセス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富士ふれあいセンター 所長 渡邊繁範</li> <li>・はまなし寮 寮長 井上央</li> <li>・ふじざくら支援学校 校長 若林正人</li> <li>・障がい者就業・生活支援センターありす 三浦誠</li> <li>・山梨県障害福祉課 害者差別解消推進員 久保和也</li> </ul>

(4) 社会福祉研修事業

① 地域福祉講座

障害者の理解を深め、障害者が住みやすい社会を作ることを目指すとし、福祉に関わる身近な問題を取りあげ、講師を招き、学習や問題提起の場として開催します。

講座名	開催日	受講者	内容
「高次脳機能障害の理解と支援 — 地域における支援につなげていくために —」	平成30年 6月18日(月)		市町村職員、福祉関係者、障害者とその家族等の様々な方を対象とした講演会。
<p>&lt;講師&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県高次脳機能障害者支援センター 支援コーディネーター 平原 由梨子 氏</li> </ul>		計95人	
「自閉症スペクトラムの理解と支援 — 発達支援の視点から —」	平成30年 11月19日(月)		
<p>&lt;講師&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こころのサポートセンターエストやまなし 臨床発達心理士 有泉 風 氏</li> </ul>			

② 点訳・手話講習会

各種障害に対する正しい知識を養うことと、障害のある方の自立と社会参加を促進するため、点訳講習会及び手話講習会を開催します。

講座名	開催日	開催回数 (延べ)	受講者 (延べ)	内容
「手話入門講習会」	平成30年 7月30日 8月6日 8月20日	3回	11人	聴覚に障害のある方について理解し、手話への興味関心を深め、初歩的な手話を学習
<p>&lt;講師&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>山梨県聴覚障害者協会 小佐野 松雄 氏</li> <li>山梨県認定手話通訳者 白壁 由里子 氏</li> </ul>				
「初級点訳講習会」	平成31年 2月25日 3月4日 3月11日	3回	20人	視覚に障害のある方、点字について理解し、点訳方法を学習
<p>&lt;講師&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青い鳥奉仕団 点訳奉仕員 松浦 敬子 氏</li> </ul>				



③ レクリエーション講習会

障害者の自立と社会参加を促進するため、社会福祉研修事業の一環として開催します。  
 障害者レクリエーション講習会」は、障害者の身体的・精神的な負担の軽減を図るとともに、  
 適性に応じたレクリエーション指導の方法について、理解を深めていただくため開催します。

講座名	開催日	受講者	内容
レクリエーション講習会 <講師> ・福祉レクリエーション研究会 代表 越水 やすみ 氏	平成31年 1月23日(水)	10人	「身近な物を使ってクラフト作りーゆったりリハビリ体操ー」 (対象：施設職員、社会福祉協議会職員など)
レクリエーション講習会 <講師> ・日本臨床心理研究所 音楽療法士 横田由美香 氏	平成31年 3月8日(金)	16人	「音楽療法で元気になるう」 (対象：障害のある方、施設職員など)



レクリエーション講習会

④ 自立支援・療育研修会

障害児 (者) が自立した生活を送れるよう、社会生活を営む上での技能を身につけるための講習会を行います。また、障害児 (者) 及び発達差の気になる子どもの保護者や関係者が適切な関わり方を学ぶための講習会を行います。

開催日時	受講者	講師・内容
<p>平成30年8月17日 (金) 10:00～12:00</p>	<p>3名</p>	<p>「発達障がいのある人の思春期と将来の社会参加にむけて」 講師：こころのサポートセンターネストやまなし 臨床心理士 長田 暢子 氏</p>
<p>平成30年8月17日 (金) 13:00～15:00</p>	<p>3名</p>	<p>「仕事について学ぼう、体験しよう」 職業講座 「働く時に大切なこと・生活に必要なお金」 「職業クイズ・職業調べ」 職業体験 「お菓子の袋詰め作業」 講師：障がい者就業・生活支援センターありす 主任就業支援ワーカー 三浦 誠 氏 講師：こころのサポートセンターネストやまなし 児童指導員 小田切 雄太 氏</p>
<p>平成30年11月21日 (水) 12月5日 (水) 12月19日 (水) (計3回) 15:00～17:00</p>	<p>4名</p>	<p>「小学生発達障害保護者セミナー」 講師：こころのサポートセンターネストやまなし 臨床心理士 長田 暢子 氏 「小学生発達療育グループ活動」 講師：こころのサポートセンターネストやまなし 児童指導員 小田切 雄太 氏</p>

## ⑤ 展示・貸出事業

### ① 図書貸出し

図書室では、一般図書の他、視聴覚障害者のための朗読カセット、大活字本、点字本、聴覚障害者向けの字幕入りビデオの閲覧、貸出しを行います。

蔵書等の数

〈 一 般 図 書 〉	1, 420冊
〈 点 字 本 〉	130冊
〈 大 活 字 本 〉	42冊
〈 朗読カセットテープ〉	66巻
〈 字幕入りビデオテープ・DVD〉	1, 336巻

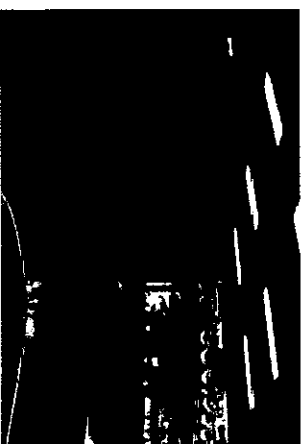


図 書 室

### ② 福祉機器等の展示

展示室では、車椅子、歩行用杖、介護用ベット等の福祉機器、介護用品を常時展示しており、来所者、相談者、視察者の方々等、どなたでも自由に見学していただけます。

## (6) 平成30年度利用状況

(単位：人)

	肢体	視覚	聴言	内部	知的	発達	精神	重複	その他	小計	家族等	関係者 一般等	小計	計
障害福祉相談	0	0	0	0	3	163	6	0	109	281	249	14	263	544
ことばの療育相談	6	0	0	0	99	25	0	15	158	303	281	8	289	592
相談・判定	88	0	0	0	302	0	0	0	0	390	0	0	0	390
発達定例相談	0	0	0	0	0	98	0	43	78	219	235	29	264	483
地域療育等 支援事業	7	1	0	0	52	104	0	27	129	320	7	170	177	497
文化教養講座	117	1	0	0	238	0	31	26	9	422	122	40	162	584
社会福祉研修事業	0	0	3	0	0	7	5	0	0	15	7	144	151	166
図書貸出事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビデオ貸出事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
研修室	55	0	0	0	42	16	0	0	0	113	81	563	644	757
第一実習室	6	0	9	0	18	1	0	2	12	48	3	26	29	77
第二実習室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	42	42
施設見学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5
計	279	2	12	0	754	414	42	113	495	2,111	985	1,041	2,026	4,137
富士ふれあいの 村まつり														1,300
合 計														5,437

※ 「相談・判定事業」は、家族等のカウントはしていない。  
 ※ 「富士ふれあいの村まつり」は、障害者と一緒に合計した数。